

町政懇談会を開催

町政懇談会を1月18日から22日にかけての5日間、町内10会場で開催しました。

145人の方にご参加いただき、154件のご意見・ご要望をいただきました。その主なものについてご紹介しますが、この他にも各地区から多数のご意見・ご要望をいただきました。

今回いただいた皆さんの声をできる限り町政に反映できるよう努めて参ります。

河川・道路・下水道

○堀株川の雑木を処理していただきたい。(西部住民センターほか)

▽河川の雑木処理は他地域からも要望が出ており、北海道では平成29年度予算要望していると同っています。防災の観点からも解決していただけるよう北海道に要望してまいります。

消防・原発・交通・通信

○昨年6月に開催された、北海道横断自動車道(倶知安〜共和間)の説明会で事業概要について説明があったが、現在行われている工事内容について教えていただきたい。(小沢地区住民センター)

▽北海道横断自動車道(倶知安〜共和間)については、倶知安町から共和町を結ぶ自動車専用道路で、工事延長11.5km、全体事業費約420億円で平成

28年4月に新たに事業化が決定し、平成28年6月には地権者を対象とした計画説明会が開催されました。事業は、着工から10年程度での完成を目指して進められており、昨年の秋からは、地質調査が行われています。道路の線形は説明会時に提示されたものから大きな変更はなく、当初予定されたいた区域を対象として調査が進められていると伺っています。

○共和高校がなくなつた場合、共和からは岩内高校が一番近い高校となるが、昔よりバスの本数が減り、通学・帰宅する際に不便を感じる。特に、帰宅時間合つたバスがなく、迎えに行かなければならないため、便数を増やすなどもう少し利用しやすいようにしていただきたい。(梨野舞納地区住民センター)



高校生の通学手段として重要な役割を担っている路線バス

▽岩宇4町村とバス事業者とは、年回数回、バスの運行について協議しています。その中で現状を訴えながらバス事業者へ要望して参ります。

○共和中学校近くに新しく設置された信号機について。国富側から岩内方面に向かう時に、道路案内標識と重なっていたため大変見えにくく、しばらくしてから標識を若干移動して頂いたのですが、それでも交差点に近くなると見えにくい。大変危険だと感じています。道路標識を移動して見えやすくするなど対処していただきたい。(国富地区住民センター)



国富地区住民センター 会場の様子

▽当初、交差点手前停止位置から約150mの位置で視認できるように設置されましたが、道路案内標識があるため見えにくいということから、岩内警察署、北海道開発局岩内道路事務所と協議し、標識の位置を変更して約200

m手前から視認できるようになったところです。北海道公安委員会によると、信号機は停止位置から150m手前で視認できることとされており、当該信号機はこの要件を満たしていますが、地域からの要望を踏まえて、小樽開発建設部と協議します。(なお、町政懇談会終了後の2月上旬、より見えやすいよう新たな信号機が、同所に設置されました。)

○コミュニティバスを早期実現していただきたい。(生涯学習センターほか)
▽コミュニティバスについては、平成27年度に策定した共和町総合戦略にも盛り込まれ、平成28年度から運行について検討を開始したところです。実際の運行に至るまでには、多くの手順が必要であり、法定協議会の設立、現状の交通実態の把握、住民の意向をアンケート調査により把握した後、「地域公共交通網形成計画」の策定が必要となっており、こうした事務手続きに、一定の時間を有するものと想定しています。町としても早急に取り組むべき施策の一つと考えていますので、速やかに事業着手できるように鋭意努力して参ります。

産業

○農作物の鳥獣被害対策について継続して対応していただきたい。(幌似構造改善センター)
▽有害鳥獣の駆除については、町有害

鳥獣駆除協力会にお願いしています。従前からハンターの高齢化や、後継者不足により活動が制約されており、今年度から町が資格取得に係る経費について全額補助しているところですが、できる限り農業後継者の方にもハンターの資格を取得していただき、協力会に加入していただければと思いますのでよろしく願います。



有害鳥獣駆除に向かうハンターの皆さん

医療福祉関係

○町民健康券の利用実績はどのようになっているか。(前田地区寿の家)
 ▽平成27年度は約12,000枚配付し、利用率は50.9%です。ここ2、3年は約50%で推移しています。今後利用率が100%に近づくような方策を考えていきたいと思えます。

○グループホームが整備されると聞いているが、どのような施設なのか教えていただきたい。
 ▽認知症高齢者グループホームとは、9名を1単位とした共同住宅の形態で生活を共にし、介護スタッフの手助けを受けながら、家庭と同じような環境の中で過ごすことにより、認知症の進行を穏やかにし、落ち着いた雰囲気の中で共同生活を行う施設です。入所対象者は、認知症の診断を受けた原則65歳以上の「要支援2」または「要介護1〜5」の介護認定を受けている方です。グループホームの事業主体は、札幌市で介護付有料老人ホーム等を営んでいる民間事業者の㈱ケアサポートで、建設場所は中央幼児センター南側の町有地です。建物は木造平屋建て、居室は全て個室となっており、利用定員18名で、11月にオープンする予定と伺っています。

教育行政

○給食費を無料にできないか。(前田地区寿の家)

▽給食については、保護者の方から納入頂いている給食費で運営しています。給食費が無料になれば、大変喜ばれると思いますが、給食費を納めることによつて保護者の給食への関心が高まり、食育に興味を寄せていただくなど、大変大事な意味合いもあると考えます。負担軽減も合わせ総合的に考えなければなりません、今後の様々な状況の中

で検討が必要な時期も来ると思えますので、ご理解願います。



食育の一環として実施されているふるさと給食の様子

行財政関係

○人口減少問題について、農業者としても機械化できない部分もあり一軒の農家で管理できる面積に限りがある。やはり人口を増やす施策を農協や住民等を交えて早急に考えていただきたい。(発足克雪管理センター)

▽現在、日本全体が人口減少社会になっている中で、国も人口減少に対応するための緒政策を立案していますが、地方自治体として、地域が一体となつて人口を維持、もしくは増に転じられるように進められている取り組みが地方創生です。本町は、過去20年でみると、後志管内19ヶ町村中4番目に人口減少率の少ない自治体となっています。

【平成29年要望件数(項目別)】

項目	件数(前年比)
河川・道路・下水道	51(+7)
消防・原発・交通・通信	31(-6)
産 産	18(+6)
除 排 雪	14(+4)
医 療 ・ 福 祉	12(+5)
教 育 行 政	7(+4)
行 財 政 一 般	5(-2)
環 境 ・ 公 害	4(±0)
防 犯 灯 ・ 道 路 照 明	2(-2)
そ の 他 (防 災 等)	10(-1)
合 計	154(+15)

今後も地方創生総合戦略を柱に、人口増や地域活性化に向け努力していきたくと考えていますので、ご協力をお願いします。

防犯灯・道路照明関係

○岩内共和道路に街灯を設置するなどして、吹雪の時に道路の境界がわかるようにしていただきたい。(宮丘地区寿の家ほか)

▽平成28年秋に、旭バス停前交差点及び、幌似鉄道記念公園付近交差点に新たに街灯が設置されました。今後も状況をみて小樽開発建設部に要請をして参ります。また、交通安全対策として小樽開発建設部において、梨野舞納側に、視線誘導灯の試験設置を進めており、効果を検証しながら延長を図っていく予定と伺っています。